

日南市出身の岡本孝（1953-）が、横市町の母智丘で偶然出会った田植えの光景を一枚の写真に収めた本作。水面は、鏡のように雲や光を反射して映し出し、遠方で農作業する人物の周りにゆっくりとした時間が流れていることを感じさせます。

1992年の都城市美術展で大賞を受賞した本作は、雲の感じと点景人物により、のどかな農村風景として仕上げた点が審査員から評価されました。

東京写真専門学校を卒業後、市内の写真館に勤めながら、日常の風景を独自の視点で捉えた作品を発表し続けている作者の感性が光る一枚です。

※本作は、5月20日(火)から開催する収蔵作品展「語り合いたい時間」で展示予定

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

| History exploration |

歴史探訪！

都城西飛行場跡の排水路(都原町)

都城西飛行場は、アジア太平洋戦争中にも使用された飛行場で、現在の都原町、南横市町を中心に滑走帯がありました。

本飛行場は、昭和8（1933）年に市営飛行場として開場。当時は、軍用機や民間機が利用していて、滑走帯のほかにコンクリートで打設された駐機場や木造格納庫がありました。

昭和19（1944）年、日本の戦況悪化に伴い軍専用となった本飛行場。陸軍特別攻撃隊の出撃基地となったことでも知られていて、昭和20（1945）年4月の大空襲で壊滅するまで使用されました。

空襲と戦後の市街地化により、当時の遺構の多くはその姿を留めていませんが、滑走帯に設けられた排水路の一部は現存していて、戦後80年を迎える現在も使用され続けています。市内でも数少ない戦前、戦後の面影が残る貴重な遺構です。



都城西飛行場開場当時（昭和8年頃）



都原町市営団地敷地内の遺構

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

「水無月」 岡本 孝 作（1992年）



4代目代表 中島幸子さん



都城初のパン屋として大正14年に創業し、今年で100年の節目を迎える中島パン本舗。市役所から約200mの距離に位置する同社店舗には、毎日焼き立てのパンが並びます。約10年前まで市内の学校給食や売店でパンを提供していた同社。その味は、長年市民の「思い出の味」として愛されてきました。

「創業当初から流行を取り入れた商品開発に注力していて、都城のパン業界をリードしてきた自負がある」と話すのは中島幸子前代表。販売開始から50年以上の看板商品「ラグビーパン」は、創業者の中島利吉氏が、志布志港に寄港した船の乗客に調査し、当時流行っていたラグビーに着想を得て商品化されました。同社のパンは、時間と手間をかけた発酵によるふわふわの食感と、シンブルながらも懐かしい味わいのトッピングや餡のバランスが特徴。現在は、3代目の中島英貴代表が中心となり運営しています。

「お客様とのコミュニケーションを大切にできた」と語る幸子さん。誰もがパンをおいしく食べられるよう、できる限り一人一人のニーズに寄り添ってきました。『このパンで育った』『帰省の際に立ち寄った』などのお客様からの言葉に支えられてきた。受け継いできた味と歴史を守りつつ、これからも地域に根差し愛される店であり続けたい」と話す幸子さんからは、市民の思い出の一端を担う誇りが伝わってきました。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業力

Vol.56

株式会社中島製パン工場
(中島パン本舗)

☎ 24-5307



看板商品のラグビーパン

今月の読者プレゼント



「道の駅」都城NiQLL商品券2千円分5人 プレゼント提供事業者

「道の駅」都城NiQLL(都北町5225-1) ☎38-5529
オープン2周年を迎えたニクルから、商品券をプレゼント。「日本一の肉と焼酎」をはじめとした地場製品の販売はもちろん、木のゆうぐ広場などを備えた子どもから大人まで楽しめる本駅に、ぜひお越しください。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、5月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 5月31日(土) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙7月号
- ◎3月号当選者 ペペさん ほか4人
- ◎3月号応募総数 164通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

お待ちしております／ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を張り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

氏名
フリガナ
ペンネームまたはイニシャル
郵便番号
住所
電話番号

点線に沿ってお切りください

